

観光を軸に稼ぐ新組織「越前おおの観光ビューロー」について (R5.10.3時点)

1 名称 一般財団法人 越前おおの観光ビューロー

2 設立日 令和5年9月1日(決算期:3月)

3 基本財産 300万円

(出捐:観光協会200万円、商工会議所50万円、越前信用金庫50万円)

4 事務所 大野市元町10-23(現観光協会事務所)

※現平成大野屋事務所(元町1-2)も併用

5 設立時役員 理事長 大谷 誠治 (現観光協会会長)

副理事長 藤堂 規行 (現観光協会副会長)

理事 飯田 俊市郎 (商工会議所専務理事)

理事 佐々木 成充 (越前信用金庫常勤理事)

理事 林 広二郎 (大野市地域経済部長)

理事 巢守 和義 (福井和泉リゾート株式会社代表取締役)

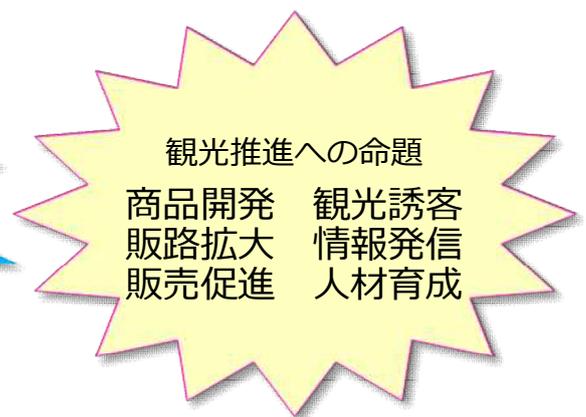
監事 林 幹雄 (税理士)、竹内 宗義 (税理士)

6 設立時評議員 石山 志保 (大野市長、評議員長)、稲山 幹夫 (商工会議所会頭)、

南保 勝 (仁愛大学人間学部教授)

7 設立目的 (定款)

当法人は、大野市における地域資源を活かし、市内事業者および行政と連携して、観光客の誘致や地場産品の販路拡大等に関する事業を行うことで、観光関連産業の振興、事業者の稼ぐ力の向上および交流人口の拡大に努め、持続可能な観光地域づくりに寄与することを目的とする。



8 市内事業者との連携

- ・市内の観光関係事業者（宿泊・飲食・小売・交通等）、商工・農林水産分野の各事業者、関係団体等から賛助会員を募り、Webによる首都圏向け商品開発・販路拡大相談の斡旋、SNS等を通じた情報発信サポート、マーケティング情報提供、事業への優先参加などのサービスを提供
- ・賛助会員を中心に連絡会を定期開催し、新たな観光企画等に関する意見聴取を行う

9 組織体制および主な実施事業

事務局 事務局長に現観光協会事務局長が就任予定：職員22人（正職員11、パート11）

※上記のほか、設立当初の基盤強化のための市職員受入、自主事業を推進する人材採用を検討

【総務部】

- まちなか観光拠点施設（洋館・平蔵・二階蔵）・結楽座・藩主隠居所・駐車場
- ・大手門広場の指定管理、越前大野城受付・管理

【観光協会事業部】

- 観光情報発信、観光ツアー企画・実施、観光地魅力向上、観光商品開発・販売、観光案内・ガイド、インバウンド対応

【大野屋事業部】

- 結楽座・ECサイト・洋館等の運営、特産品等の県内外への情報発信・販路拡大
- ・現平成大野屋が実施する飲食事業（はいから茶屋）は縮小または廃止、洋館の活用方法を検討
- ・新たな自主事業の開始を令和8年度までに目指す。

【展開する事業の例】

- 天空の城や星空を活用した宿泊付き観光ツアーの造成
- 旅行業登録による旅行相談や体験プログラム、宿泊斡旋等の実施
- 観光・集客イベントの開催、事業者と連携した商品開発
- インバウンド富裕層の強力な誘客、対応サービスの企画運営
- 飲食店・土産品店とタイアップした結楽座での委託販売
- テナント貸しやシェアキッチンを含めた「洋館」での飲食提供
- 空家等再生（一棟貸宿、貸店舗の運営等）
- 観光誘客に係るPR等の業務受託



- ・事業開始当初は、早期の新規事業着手を目指すとともに、組織再編の第一の効果である事業の効率化と管理運営費の低減、市内事業者との連携体制の構築・サービス提供を進める。

※組織体制や主な実施事業等については、今後変更の可能性があります。

10 今後のスケジュール

- 令和5年10月～ 賛助会員希望事業者の募集、寄付金（協力金）受入開始
中長期の経営計画、事業承継等の準備
- 令和6年 4月1日 観光協会及び平成大野屋から事業・従業員を引き継ぎ
引き継いだ事業及び管理施設運営を開始

